

## 基本情報

所属	現代ビジネス学部 地域経済学科	氏名	大津 健登 Otsu Kento
職名	教授	E-mail	otsu@cb.kiu.ac.jp
		ホームページ	—

### ■ 学歴・取得学位

2006(平成18)年3月	明治大学商学部商学科卒業 学士(商学)
2008(平成20)年3月	明治大学大学院商学研究科商学専攻博士前期課程修了 修士(商学)
2014(平成26)年3月	明治大学大学院商学研究科商学専攻博士後期課程修了 博士(商学)

### ■ 主な職歴

2012(平成24)年4月	大月市立大月短期大学経済科非常勤講師
2014(平成26)年4月	関東学院大学経済学部非常勤講師
2014(平成26)年4月	立教大学経済学部兼任講師
2016(平成26)年9月	東京農業大学国際食料情報学部非常勤講師
2016(平成28)年4月	明治大学商学部兼任講師
2017(平成29)年4月	九州国際大学現代ビジネス学部特任准教授
2019(平成31)年4月	九州国際大学現代ビジネス学部准教授
2022(令和4)年4月	九州国際大学現代ビジネス学部教授(現在に至る)

## 教育活動

### ■ 主な担当授業科目

<input type="checkbox"/> 学部：国際経済学、貿易論、開発経済論
<input type="checkbox"/> 大学院：

### ■ 教育上の特記事項

<input type="checkbox"/> 教科書・教材：
<input type="checkbox"/> 教育活動：
<input type="checkbox"/> 免許・資格：

## 研究活動

### ■ 研究分野

研究分野	貿易論
主な研究テーマ	現代グローバル化と国際貿易
キーワード	韓国の事例研究

■ 主な著書・論文等

著書

- (共) 平川均・小林尚朗・森元晶文 編『東アジア地域協力の共同設計』西田書店, 2009年, (執筆章「第7章 韓国から見た東アジア地域協力」 pp. 142-153)
- (共) 福田邦夫監修, 小林尚朗・吉田敦・森元晶文 編『世界経済の解剖学』法律文化社, 2014年, (執筆章「第9章 韓国: 自由貿易立国の虚構」 pp. 171-190)
- (共) 福田邦夫・大津健登 編『現代アジア・アフリカ政治経済論』西田書店, 2015年, (執筆章「第1章 東アジア—資本主義と韓国」 pp. 11-35, 「結語—21世紀世界と対峙する」 pp. 177-185)
- (共) 平川均・石川幸一・山本博史・矢野修一・小原篤次・小林尚朗 編『新・アジア経済論』文眞堂, 2016年, (執筆章「第10章 政治経済面で中国に接近する韓国」 pp. 135-147)
- (共) 三和裕美子 編著『東アジアとアセアン諸国のコーポレート・ガバナンス』税務経理協会, 2016年, (執筆章「第3章 韓国のコーポレート・ガバナンス」 pp. 33-65, 「第6章 シンガポールのコーポレート・ガバナンス」 pp. 103-120, 「第7章 タイのコーポレート・ガバナンス」 pp. 121-142)
- (共) 小林尚朗・篠原敏彦・所康弘 編『貿易入門』大月書店, 2017年, (執筆章「第5章 国際収支と外国為替」 pp. 93-108, 「第7章 戦後の貿易制度 WTO」 pp. 131-146)
- (共) 朱永浩 編著『アジア共同体構想と地域協力の展開』文眞堂, 2018年, (執筆章「第8章 日中韓をめぐる東北アジアの貿易構造」 pp. 117-126)
- (単) 大津健登『グローバリゼーション下の韓国資本主義』大月書店, 2019年, 260頁
- (共) 小川雄平・猿渡剛 編著『国際ビジネス論を学ぶ』中央経済社, 2020年, (執筆章「第3章 為替レートと企業戦略」 pp. 50-63)
- (共) 重田康博・太田和宏・福島浩治・藤田和子 編著『日本の国際協力』ミネルヴァ書房, 2021年, (執筆章「1 対韓国援助—経済発展の軌跡と開発経験の共有」 pp. 24-31)
- (共) 小林尚朗・山本博史・矢野修一・春日尚雄 編著『アジア経済論』文眞堂, 2022年, (執筆章「第11章 日韓経済関係を巡る動向と課題—韓国の行方」 pp. 163-179)

論文

- (単) 「日韓基本条約と韓国経済構造の変化」『商学研究論集』(明治大学大学院) 第27号, 2007年9月, pp. 337-351。査読有。
- (単) 「韓国産業構造の変化と財閥資本」『商学研究論集』(明治大学大学院) 第28号, 2008年2月, pp. 361-379。査読有。
- (単) 「世界同時不況下の韓国資本主義の諸問題」『商学研究論集』(明治大学大学院) 第32号, 2010年2月, pp. 241-261。査読有。
- (単) 「東アジアの貿易構造について—21世紀初頭の日中韓の貿易を中心に—」『商学研究論集』(明治大学大学院) 第35号, 2011年10月, pp. 73-94。査読有。
- (単) 「グローバリゼーション下の韓国経済の諸問題—1990~2000年代における対外経済関係の進展—」『明大商学論叢』(明治大学商学研究所) 第95巻第1号, 2012年10月, pp. 29-52。査読有。
- (単) 「韓国の経済発展に関する研究—グローバリゼーション下の韓国資本主義—」(博士学位論文) 明治大学, 2014年3月, pp. 1-168。査読有。
- (単) 「輸出主導型経済とサービス貿易に関する一考察—韓国の貿易構造を事例として—」『アジア・アフリカ研究』(アジア・アフリカ研究所) 第54巻第4号, 2014年10月, pp. 23-41, 査読有。
- (単) 「政治経済体制の変容—韓国の事例—」『明大商学論叢』(明治大学商学研究所) 第97巻第3号, 2015年3月, pp. 179-196。査読無。
- (単) 「韓国資本主義とソウルをめぐる住宅・土地に関わる現状について」『明大商学論叢』(明治大学商学研究所), 2020年3月, pp. 207-219, 査読無。
- (単) 「ポスト冷戦期の韓国と対外経済関係の新たな課題」『東アジア研究』(東アジア学会), 第28号第1分冊(経済), 2020年12月, pp. 19-28, 査読無。

学会発表

- (単) 「グローバリゼーション下の韓国経済の諸問題—韓国経済の現状と課題—」, 日本

<p>国際経済学会 第70回全国大会, 2011年10月, 慶應義塾大学開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ (単)「韓国輸出主導型経済の再編と行方」, 経済理論学会 第64回大会, 2016年10月, 福島大学開催。</li> <li>○ (単)「韓国をめぐる国際情勢」, アジア共生学会 2017年度 第1回講演, 2017年6月, 九州国際大学開催。</li> <li>○ (単)「韓国におけるコーポレート・ガバナンスの現状と課題—財閥をめぐる新たな局面—」, アジア経営学会 第24回全国大会, 2017年9月, 東北大学開催。</li> <li>○ (単)「韓米FTAの現状と課題—貿易自由化をめぐる諸相—」, 日本貿易学会(西部部会), 2018年9月, 福岡ガーデンパレス開催。</li> <li>○ (単)「韓国におけるFTAの動向と展望—自由貿易をめぐる課題—」, 東アジア学会, 2018年12月, 西南学院大学開催。</li> <li>○ (共)「The Characteristics of the Trump Administration's Trade Policy and FTA」 [発表担当]「In the Context of Korea - US Free Trade Agreement (KORUS FTA) Amendments」, KTRA, IAGBT, KITRI, KMI, ATA, KAICI, CNU and Industry-Academic Cooperation Division of Yeungnam Univ., The 1st World Allied Trade Associations Biennial Meeting 2019 Jointly with the 22th IAGBT-KITRI Biannual Conference and Research Symposium, August, 2019, National Korea Maritime and Ocean University, Busan, Korea.</li> <li>○ (単)「コロナ禍の韓国経済」, 東アジア学会 第31回大会, 2021年10月, 久留米大学福岡サテライト/オンライン, ハイブリッド) 開催。</li> <li>○ (共)「NAFTA・米韓FTA改定から見る『米国第一』主義の通商政策」(NAFTA・米韓FTAの制度改定過程の比較検討) [発表担当]「改定韓米FTAについて」, 日本貿易学会 第60回全国大会 2021年12月, オンライン開催。</li> </ul>	
<p>その他(研究ノート, コラム等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ (単)「韓国企業のグローバル展開」『ERINA REPORT』(公益財団法人環日本海経済研究所: ERINA) NO.113, 2013年8月, pp.32-42</li> <li>○ (共) 藤田和子・文京洙編著『新自由主義下のアジア』ミネルヴァ書房, 2016年, (コラム「韓国ソンミサン・マウルの試み」p.152)</li> <li>○ (単)「最近の韓国輸出主導型経済の動向について」『アジア・アフリカ研究』(アジア・アフリカ研究所) 第57巻第1号, 2017年1月, pp.23-41</li> <li>○ (単)「韓国の輸出主導型経済の変調」『経済』(新日本出版社), 2020年1月, pp.48-53</li> </ul>	

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

--	--

■ 主な所属学会

日本国際経済学会, 経済理論学会, 日本貿易学会
--------------------------

■ 受賞等

( )年 月	
--------	--

■ 研究助成金による研究

○
---

社会における活動等

○ 特定非営利活動法人 (NPO 法人) アジア・アフリカ研究所 (2009年～会員, 2016年～理事, 現在に至る)
--

## 大学運営活動等

- 社会文化研究所運営委員（2017年4月～2018年3月）
- 地域連携センター運営委員（2018年4月～2019年3月）
- 教務委員（2019年4月～2020年12月）
- 学生部長（2021年1月～現在に至る）